

No.67 近代的な国際関係	年 組
	氏名

/7 問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

1 幕末に結んだ (①) 条約を改正することが大きな課題であった新政府は、(②) を全権大使とする使節団を欧米に派遣した。改正交渉は不成功に終わったが、使節団は欧米の政治や産業、社会状況などを視察して回った。

2 1871年、日本が清と対等な立場で結んだ右の条約を(③) という。

第1条 この後大日本国と大清国は、友好関係を強め、たがいの国土をおかさず、永久に安全なものとする。
 第8条 両国の開港地には、それぞれの役人を置き、自国の商人の取りしまりを行う。財産や産業について訴えがあった事件は、その役人が裁判を行い、自国の法律で裁く。
 (部分要約)

3 欧米に対して鎖国し、明治政府との国交をこぼんでいた朝鮮に対し、政府内では武力で朝鮮に開国をせまる (④) の主張が高まった。

4 (④) をめぐって政府内で対立がおこり、対立に敗れた西郷隆盛や (⑤) などは政府を去った。



(⑤)

5 1875年、日本政府は、(⑥) 事件を口実に、翌年に朝鮮と (⑦) を結び、力で朝鮮を開国させた。

新政府は、外国に対してどのような姿勢で対応したのかをとらえよう。



【解答】

- ① 不平等
- ② 岩倉具視
- ③ 日清修好条規
- ④ 征韓論
- ⑤ 板垣退助
- ⑥ 江華島
- ⑦ 日朝修好条規